

伴野豊の絆レポート No.80



○最近の天災は忘れる前にやって来る。

皆さん、こんにちは。伴野豊です。やっとな秋が来た、という感じですが、いかがお過ごしでしょうか。急に朝夕寒くなり、風邪を引かれている方もいらっしゃると思います。くれぐれもご自愛下さい。

今年の夏は、自然災害の夏と言っても過言ではないくらい、次から次へと、これでもか、これでもかとやってきました。酷暑。豪雨。台風。地震。「天災は忘れた頃にやって来る」とよく教えられたものですが、この頃は「最近の天災は忘れる前にやって来る」というところでしょうか。未だ避難所等で不自由な生活を強いられている多くの被災者の皆さまに改めて御見舞いを申し上げますとともに、被災現場の復旧、復興にご尽力されている関係各位に敬意を表します。

この夏、ひとりのボランティアとして岡山市の被災地に入りました。現地では、被災ゴミ、生活ゴミの始末をすのお手伝いをさせて頂きました。片づけても、片づけても次から次へと出てくるゴミ、ゴミ、ゴミ。あらゆる空き地に山積みになっている被災ゴミ。そこから発生する異臭と粉塵。とてつもない量です。全国全ての被災現場で同様の事が起きているものと思われます。関係者の方にお話を伺いました。今回被災ゴミとして各家庭から出てきたゴミのうち、半分以上、場合によっては6割くらいは、日常的に不用品として以前より家庭内にあったものとのこと。不要品のテレビがタンスの上から落ちて来た。不用品の鏡が割れて足の裏を切った。不用品の大きなタンスが通路を塞いで、避難するのに時間がかかった。こんな話が沢山ありそうです。「日頃から様々な不用品は始末しておく」防災、減災の心得であり、被災地復興を少しでも早める知恵であると考えます。

もうひとつ気になったのが空き家の多さです。建築時期が古く腐朽・破損している空き家は、不審火の誘発要因でもありますし、台風、地震などの災害時には、凶器に化けます。総務省の「平成25年住宅・土地統計調査」(平成27年2月26日公表)によりますと、平成25年10月1日時点における全国の空き家総数は、約820万戸に上り、全国の住宅総数(6,063万戸)に占める空き家率は、13.5%と過去最高となりました。特にやっかいな古く腐朽・破損している空き家は、約318万戸と過去20年間で約2倍に増加しました。現状のままでは、2033年に空き家数は約2,167万戸、空き家率は30.4%に上昇すると予測されています。私有財産でもある空き家対策には、課題が多いものの、防災・減災の観点からもその対策はスピードアップしなければなりません。

さて、国会です。安倍首相は、消費税率を来年10月1日に現行の8%から10%へ予定通り引き上げる方針を10月15日の臨時閣議で表明しました。米中貿易摩擦の激化。世界同時株安の兆し。どうなる日本経済。どうする日本政治。玉城デニー沖縄県知事の誕生には、沖縄の矜持をそこに感じた気がしました。24日から開催される臨時国会。与党も野党も関係なく、政治家としての矜持をみせて欲しいものです。

伴野 豊 様

今月の気になる言葉

#異常気象 #空き家対策 #消費税

検索 🔍



9月30日(日)
愛知製鋼労働組合定期大会
(東海市アスカムにて)



9月30日(日)
樂書展
(山内江鶴先生と)



9月30日(日)
JFE スチール知多労働組合定期大会
(JFE スチール労組大会議室にて)

ば

ばんの豊フェイスブックページ

検索 🔍

地元事務所 〒475-0836 半田市青山 2-19-8

TEL : 0569-25-1888

HP : bannoyutaka.jp

衆議院愛知第8選挙区：半田市 常滑市 東海市 知多市

阿久比町 東浦町 南知多町 美浜町 武豊町

